

第31回韓国社会人剣道選手権に参加して

IGKC 東北クラブ 菅野 由里子



7月13日から18日まで「第31回 韓国社会人剣道選手権大会」に参加するために韓国を訪問しました。国際社会人剣道クラブ川瀬能男会長を団長として、関東から16名、近畿9名、東北9名、中国6名、総勢40名の大選手団です。13日は、韓国社会人剣道連盟の方々との稽古会がありましたが、東北チームは飛行機の都合で参加することができませんでした。その日の夕食は早速歓迎会を催していただき、韓国の方々と親しく交流することができました。

翌日14日は韓国社会人剣道選手権大会の個人戦が行われました。会場はオリンピックのハンドボール会場だった場所です。個人戦は、年代別、性別に行われ、男子60歳以上の部で眞谷先生が第3位、女子45歳以上の部で菅野が優勝、安田先生が第3位という成績を収めることができました。15日の団体戦では、男子60歳以上の部で関東Aチームと関東Bチームの決勝でした。大将戦の末、関東Aチームが優勝しました。女子団体戦では、近畿Bチームがベスト8に入りました。剣道の団体戦は応援しているのも楽しいものでした。大会が終了し、懇親会が開かれました。2日間、剣を交えたり、大会のお世話をさせていただいたりした韓国の方々との楽しい時を過ごすことができました。言葉がわからず、会話がなかなか難しかったですが、東北地区クラブの文さんや文さんの娘さんなどが通訳をしてくださり、とても助かりました。お陰様でしっかり「交剣知愛」ができました。



大会が終了し、参加した女子で女子会をしました。韓国の方々だけでなく、日本各地の剣道をしている会員の皆さんとの出会いもとても大きなものでした。



16日は、日本選手が一堂に「韓国民俗村」へ観光です。昼食には夏定番の豚カルビの焼き肉をいただき、その後は京畿高校剣道場で稽古を行いました。韓国の沈会長はじめ、役員の皆様方、高校の先輩方など大勢の仲間が集まった稽古となり大変盛り上がったのが印象に残っています。その日の夜はさよならパーティ、またまた韓国剣士と交流を深めたのでした。



17日は、キムソクさんの道場で稽古を行いました。こじんまりとしてはいるものの清潔感あふれる道場で丁々発止厳しく剣を交えたのは言うまでもありません。



この5泊6日の韓国社会人剣道選手権大会への参加は、剣道も懇親会もとても充実したものでした。初めて韓国の剣道に触れて改めて日本の剣道の素晴らしさを実感することができました。しっかりとした構え、攻め、正しい打突、残心と有効打突の要件を自覚し、稽古の中で心がけ、磨いていくことがとても大切なことなのだ実感しました。また、審判の技術向上もとても大切なことだと思いました。様々なことを考え、感じさせられました。

剣道をして、飲んで食べて歌って、パワフルな先生方と一緒にさせていただき、自分の未熟さを実感したところであります。まだまだ、「修行が足りない!!」、「もっともっと稽古を積み、正しい基本、美しい剣道を目指すとともに人としての心も磨いていかなければいけない。」と強く心に刻み、拙い文章ではありますが韓国大会訪問記といたします。